OWNER'S MANUAL

uMusic® Intelligent Playback System

（uMusic インテリジェントプレイバックシステム）

uMusic™
Intelligent Playback
System

取扱説明書

uMusic® Intelligent Playback System をご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。また、必要なときにすぐご覧になれるように大切に保管しておくことをおすすめいたします。

※説明の便宜上、イラストは原型と異なる場合があります。

uMusic®（ユーミュージック）システムで楽しむ

uMusic®システムとは

BOSEの独自技術により、音楽CDから曲をメディアセンターに内蔵されているHDD（ハードディスクドライブ）に読み込み、読み込んだ曲を保存、整理、管理、そして再生までを統合したシステムです。特に再生に関しては、今までに無い楽しみを提供してくれる機能です。

ユーザー登録のお願い

製品に同梱されている「ユーザー登録依頼書」に必要事項をご記入の上弊社までお送りください。登録していただくと、将来、楽曲情報※がアップデートされた際、「楽曲情報更新ディスク」の発送をもってアップデートの情報をお知らせいたします。ご登録いただいておりませんとお知らせすることができませんので、事前のユーザー登録をお願いします。

※楽曲情報とは、CDを保存する際に参照する“アーチスト名、アルバム名、曲名など”の情報です。

HDD への曲読み込みと取り込みについて

uMusicモードで曲を再生する場合は、メディアセンターに内蔵されているHDD（ハードディスクドライブ）へCDから曲を取り込まなければなりません。取り込むためには、次の作業と処理を行います。

1. CDの曲を全て読み込み、一時的に保存します（4ページ“ディスクのセットとCDの取り込み”参照）。この作業はお客様が行います。

   ♪注意： この時点で保存された曲の再生、およびアルバム名、アーティスト名、曲名の情報の表示はできます。

2. 一時的に保存した音楽データを、システム内部のデータベースに基づいて、すでに取り込んである音楽データも含めて曲同士の関連付けを行い保存します。この処理はシステムが自動で行います。

   ♪注意： この関連付けの処理にかかる時間があるため、メディアセンターの HDD へ一回に取り込める CD の枚数には一定の制限があります。従って本機をお買い上げの直後など、多くの CD を取り込む場合には何回かに分けて行う必要がありますので、あらかじめ取り込みの計画をたてておくことをおすすめします（3 ページ参照）。

HDD に取り込みできる CD の枚数について

約200時間分の曲（CD約200枚相当）

取り込みの計画（予定）をたててみます

例：10枚のCDをHDDに取り込む場合

読み込み:1枚あたり約5分かかります（ディスクに傷や汚れなどがある場合には、それより長くかかることもあります）。ディスクの入れ替えの時間を含めると、10枚のCDで約1時間かかります。

関連付け：関連付けの作業は、メディアセンターの電源のON/OFFにかかわらず行われますので、この間は必ずベースモジュールのACケーブルを差したままにしておいてください（関連付けの作業は、電源をOFFにしている方が早く終了します）。CDに入っている曲数や曲の長さにもよりますが、メディアセンターの電源OFFの状態で10枚処理するのに約6時間程度かかります。電源がONの状態ではさらに時間がかかります（2ページ参照）。

♪注意：連続して読み込める CD の枚数は、CD に入っている曲数や曲の長さにもよりますが、およそ 10 枚前後です。それ以上続けて読み込もうとしても、一時的に保存するエリアがいっぱいになり新しい CD が読み込めず、メディアセンターの表示部に“BUSY PROCESSING CDS”と表示されます。この場合は、最低でも 1 枚の CD の関連付けが終了するまで、新しい CD は読み込めません。

このように、CDをHDDに取り込むにはある程度の時間がかかります。一度に多くのCDを取り込む場合は、例えばお出かけの前や夜寝る前にCDを読み込ませて、外出中や寝ている間に関連付け作業を終わらせるようにするといった計画（予定）をたてることをおすすめします。

取り込み中に聴くことができる音源（ソース）について

メディアセンターのFM/AMラジオやすでに取り込んでいる音楽を保存済CDモードで聴くことができます。また、背面入力端子（アナログ音声入力）に接続されている外部ソースも聴くことができます。ただし、取り込み作業中に音楽を聴く場合、内部での処理に負担がかかるため取り込み開始、終了の際に音が途切れることがあります。また、一時的保存の作業が終われば他の音楽CDや映画DVDの再生ならびにデジタル音声接続されている外部ソースを聴くことも可能です。

取り込んだ曲の情報を見るには

保存済CD再生時にリモコンの**画面表示**（画面表示）**ボタン**を押すと、テレビやモニターの画面に曲名、アーティスト名、トラック時間、ジャンル、CD管理番号※、アルバム名が表示されます。また、メディアセンターの表示部にも上記情報のうちの一部が表示されます（メディアセンターの表示部に日本語の表示はできません）。

※CD管理番号とは、CDを取り込んだときにシステムが自動で付ける管理用の番号です。この番号を直接入力することでCDアルバムを呼び出すことができます（“CD管理番号モード”9ページ参照）。なお、その際、本取扱説明書巻末の“取込済CD覚書き”の表を使うなどして、取り込んだCDをメモしておくと呼び出しがより簡単に行えます。

uMusic システムを使ってみましょう

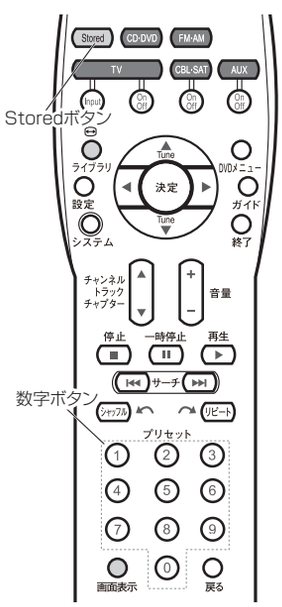
⚠ 注意：uMusic システムによる音楽再生を行うには、メディアセンターの HDD に最低1枚は CD が取り込まれていなければなりません。また、HDD におよそ 20 枚以上の CD を取り込むと、uMusic システムの本来の良さを発揮するようになります。

ディスクのセットと CD の取り込み

1. メディアセンターのコントロールパネルの**Eject** (Eject) **ボタン**を押してディスクトレーを出します。
2. ディスクトレーへ最初のCDをセットします。
3. メディアセンターのコントロールパネルの**Eject** (Eject) **ボタン**を押してディスクトレーを収納します。
4. メディアセンターの**Store** (Eject) **ボタン**を押して読み込みを開始します。このとき、メディアセンターの表示部にはじめは **“ACCESSING GRACENOTE MEDIA DATABASE”** と表示され、次いで **“CD ××% STORED”** と進捗率をパーセントで表示します。読み込みが終了すると **“AUDIO CD STORED”** という表示になり、読み込みが完了します。
   ・読み込み作業を中断するには、**Eject** (Eject) **ボタン**を押してディスクトレーをあけてください。
   ・中断したCDを再び読み込むにはディスクトレーを閉じて、**Store** (Store) **ボタン**を押してください。
5. 取り込みたいCDの数だけ、1～4を繰り返します。

♪ 注意：・CD を取り込むときはシステムの電源を ON にしておく必要はありません。
・アルファベット、アーティストなどの順に取り込む必要はありません。
・本取扱説明書巻末の “取込済 CD 覚書き” の表を使うなどして、取り込んだ CD をメモしておくのもよいでしょう。
・取り込んだ曲は、システム設定画面の “保存済 CD 設定” のところで、アルバム単位、曲単位で削除することができます。詳しくは 5、13 ページを参照してください。

⚠ 注意：・メディアセンターに取り込める CD は音楽 CD（CD-DA）のみです。DVD や MP3 CD からは取り込むことはできません。対応していないディスクがセットされた場合、Store ボタンを押すと取り込むことができないことを表すエラー・メッセージがメディアセンターの表示部に表示されます。
・連続して読み込める CD の枚数は CD に入っている曲数や曲の長さにもよりますが、およそ 10 枚前後です。それ以上続けて読み込もうとしても、一時的に保存するエリアがいっぱいになり新しい CD が読み込めず、メディアセンターの表示部に **“BUSY PROCESSING CDS”** と表示されます。この場合は、最低でも 1 枚の CD の関連づけが終了するまで、新しい CD は読み込めません。



保存済 CD（uMusic）ソースに切り替えて再生します

⚠ 注意：uMusic システムによる音楽再生を行うには、メディアセンターの HDD に最低1枚は CD が取り込まれていなければなりません。保存済 CD モードを使用する前に必ず “ディスクのセットと CD の取り込み” を行ってください。

リモコンの**Stored（ストアード）** (Stored) **ボタン**を押します。

・システムの電源が入っていなくても、このボタンを押すと電源が入り、同時に音源が保存済CDに切り替わり、前回最後に聴いていたプリセットおよび再生モード（9ページ参照）で再生を始めます。

・ご家族でご使用になる場合は、各々自分専用のプリセットを作ることをおすすめします。そして、必ず自分専用のプリセットを選んで再生するようにしてください（6ページ“プリセットの使い分け”参照）。

・プリセットを切り替えたい場合は、リモコンの数字ボタンの1から9のうち、切り替えたいプリセットの番号を押してください（6ページ“プリセットの切り替えのしかた”参照）。

♪ 注意：プリセットに関しての詳細は6～8ページを参照してください。

保存済 CD 再生時の基本的な操作

一時的に停止させたい‥‥リモコンの**一時停止** (II) **ボタン**を押します。

一時的に停止させた場所から再生したい‥‥リモコンの**一時停止**(II)**ボタン**を押すか、リモコンの**再生**(▶)**ボタン**を押します。

停止させたい‥‥リモコンの**停止**(■)**ボタン**を押します。

次のトラック(曲)へ移動したい‥‥リモコンの**トラック**(チャンネル トラック チャプター)**ボタン**上を押して次のトラックへ移動します。

再生中のトラック(曲)の頭の部分に戻りたい‥‥数秒間再生の後、リモコンの**トラック**(チャンネル トラック チャプター)**ボタン**下を押すと、現在再生中のトラックの頭に戻ります。

一つ前のトラック(曲)へ戻りたい‥‥数秒間再生の後、リモコンの**トラック**(チャンネル トラック チャプター)**ボタン**下を2回押すと、現在の一つ前のトラックの頭に戻ります。

シャッフル(順不同)再生したい‥‥リモコンの**シャッフル**(シャッフル)**ボタン**を押します。uMusicモードとアンコールモードでは使えません。

再生リピート（繰り返し）再生したい‥‥リモコンの**リピート**(リピート)**ボタン**を押します。このボタンを押す度に表示部が、REPEAT TRACK（1曲繰り返し）→REPEAT DISC（ディスク全曲繰り返し）→REPEAT OFF（繰り返し解除）→REPEAT TRACK…と替わります。uMusicモードとアンコールモードでは使えません。

リピート(繰り返し)再生を解除したい‥‥リモコンの**リピート**(リピート)**ボタン**を表示部にREPEAT OFF（繰り返し解除）が表示されるまで押します。

早戻し、早送りしたい(サーチ)‥‥リモコンの**サーチ**(⏮ サーチ ⏭)**ボタン**を押し続けます。

再生している曲の情報が知りたい‥‥リモコンの**画面表示**(画面表示)**ボタン**を押します。

現在再生中の曲が収録されているCDを初めから再生したい‥‥リモコンの**CD管理番号**(Ⓐ CD管理番号)**ボタン**を押します。

取り込んだ全ての曲(ライブラリー)の中からCDまたは曲を探したい‥‥リモコンの**ライブラリ**(ライブラリ)**ボタン**を押します。

再生中の曲をプレイリストに追加したい‥‥リモコンの**プレイリスト**(Ⓑ プレイリスト)**ボタン**を長押しします。

プレイリストに登録してある曲を再生したい‥‥リモコンの**プレイリスト**(Ⓑ プレイリスト)**ボタン**を押します。

聴かない曲を削除したい‥‥リモコンの**システム**(システム)**ボタン**を押して画面にシステム設定画面を表示させます。保存済CD設定→トラックの操作→削除（13ページ参照）を選択し**決定**(↵)**ボタン**を押します。

聴かないCDをまるごと削除したい‥‥リモコンの**システム**(システム)**ボタン**を押して画面にシステム設定画面を表示させます。保存済CD設定→CDの操作→CDの削除（13ページ参照）を選択し**決定**(↵)**ボタン**を押します。

プリセットとは

uMusicシステムのプリセットとは、曲を選ぶ基準の情報を保存するところをいいます。使う人、場所、時間帯、環境、気分など、それぞれの状況に応じて、別々の基準をプリセットに記憶させて、随時切り替えて使用することができます。uMusicシステムでは9個のプリセットを使うことができます。

プリセットの使い分け

◆プリセットの使い分けを例を挙げて紹介します。

例1: 家族ごとにプリセットを使い分ける

音楽の嗜好、タイプは人により異なります。それぞれが、互いに自分の好みの曲を楽しむにはそれぞれ別々の曲の選択基準が必要になります。そこで、ご家族のメンバーごとにプリセットを用意します。

例えば、

ご主人用のプリセット …… プリセット1
奥様用のプリセット …… プリセット2
お子様1用のプリセット…… プリセット3
お子様2用のプリセット…… プリセット4

このようにご家族のメンバーごとにプリセットを用意して、各自がご自分用のプリセットを選んで再生することで、uMusicシステムが各自の好みにあった選曲を行ってくれます。

例2: シーン（環境や状況）によってプリセットを使い分ける

お一人でこのシステムを使用する場合でも、プリセットの使い分けによって、より気分にあった曲を選択することができます。

例えば、

朝起きるとき用のプリセット …… プリセット1
仕事や作業をするとき用のプリセット …… プリセット2
夜、くつろいでいるとき用のプリセット…… プリセット3
寝る前用のプリセット …… プリセット4
週末用のプリセット …… プリセット5
ホームパーティのBGM用のプリセット …… プリセット6

このように生活シーンに合わせてプリセットを使い分けることで、uMusicシステムがそのときの気分に一番あった選曲を行ってくれます。必ず、ご使用前に、そのときのシーンにあったプリセットを選択して再生してください。

以上のように、プリセットは気持ちよく音楽を楽しむために非常に大切な機能です。上手に使い分けてご使用ください。

♪ 注意：プリセットには 1 から 9 までの番号があらかじめふられていますが、区別しやすいようにそれぞれのプリセットに 8 文字までのアルファベットで自由に名前を書き込むことができます（8 ページ“名前の書き込み方”参照）。

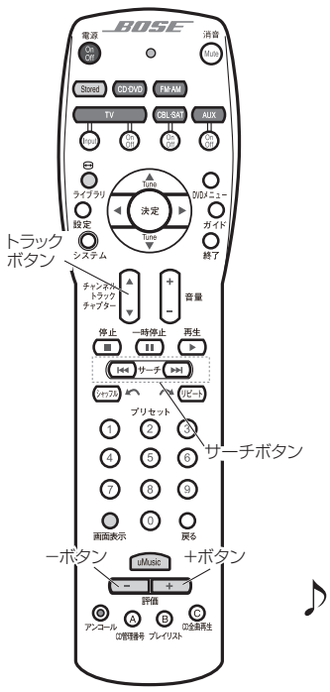
♪ 注意：プリセットの内容はいつでも初期化できます（8 ページ“プリセットの内容の初期化の仕方”参照）。例えば、ある人用のプリセットの内容を消去して、別の人がそのプリセットを使用することができます。また、プリセットは 9 種類使い分けできますが、全てを使用しなくても 1 つだけの使用でも全くかまいません。

プリセットの切り替えのしかた

保存済CD再生時に、リモコンの**数字ボタン**の1から9のうち1つを押してプリセットを切り替えます。プリセットを切り替えると直後の再生モードは常にuMusicモードになります。再生モードについては“保存済CDの再生モードについて”(9ページ)を参照してください。

プリセットに好みを覚えさせるには

好みを学習させるのに、わざわざ特別な操作は必要ありません。普段音楽を聴いているとき、聴いている曲が気に入っているならばその曲を最後まで聴いてしまいますが、聴きたくない曲だったらすぐに次の曲へ移るでしょう。これは、いつも普通に行っている操作です。しかし、uMusicシステムは、このような単純な操作からも十分使う人の音楽の嗜好を学び取ることができるのです。uMusicシステムは、使う人の音楽を聴いているときの操作（**サーチボタン**や**＋、－ボタン**の使用など）をモニターすることで、その人の音楽の好き嫌いの傾向を学習します。使う人は普段と全く同じように音楽を聴いているだけで、システムはどんどん学習し、より適切な選曲ができるようになります。つまり、プリセットを選んで音楽を聴いているだけで選曲の精度があがります。



今聴いている曲の評価の方法について

評価を上げる（その曲が選ばれる頻度を増やす）方法

・聴いている曲を普通に最後まで聴きます。

・聴いている曲が特に好きなものであれば、リモコンの**＋ボタン**を1回押します（何回押しても効果は変わりません）。

評価を下げる（その曲が選ばれる頻度を減らす）方法

・早送りさせたり、次の曲に移動します。

・聴いている曲が特に嫌いなものであれば、リモコンの**－ボタン**を1回押します（何回押しても効果は変わりません）。

♪注意：・uMusic システムでは、最後まで曲を聴いたり、早送りや次の曲に移動する行為より、**＋、－ボタン**を押す方がより強い気持ちを表していると学習します。また、評価はその曲だけではなく、関連付け（2 ～ 3 ページ参照）の処理で、uMusic システムが似ていると判断した他の曲にも及びます。

・**－ボタン**を押しても、uMusic システムでは、二度とその曲を選択しないという訳ではありません。その曲およびその曲に関連が強いと判断される曲を選択する頻度が下がるという意味です。どのプリセットでも全く再生するつもりがない曲やアルバムがある場合は、その曲やアルバムをハードディスクから削除することもできます（5 ページ“聴かない曲を削除したい”、“聴かない CD をまるごと削除したい”の項目を参照）。

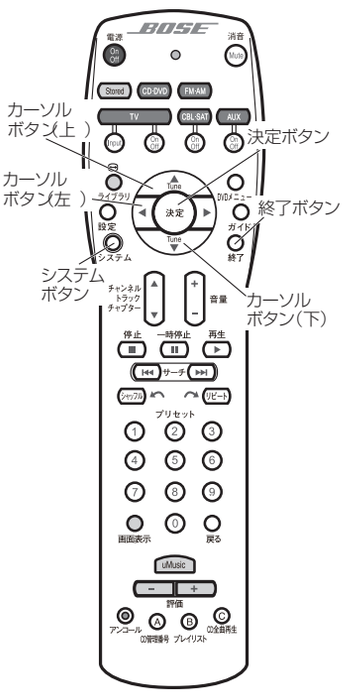
・**＋ボタン**のつもりで、間違えて**－ボタン**を押した場合は、**トラック**（チャンネル/トラック/チャプター）**ボタン下**を 2 回押して間違えて押してしまった曲に戻りもう一度**＋ボタン**を押してください。

・uMusic システムが好きな曲を選んでくれているのだが、今は聴きたくないという場合は、**＋ボタン**を押してから次の曲に移動してください。

プリセットの操作について

名前の書き込み方

uMusicプリセットには1から9までの番号があらかじめふられていますが、区別しやすいようにそれぞれのプリセットに8文字までのアルファベットで自由に名前を書き込むことができます。



1. リモコンの**システムボタン**を押してテレビの画面にシステム設定画面を表示させます。
2. **メディアセンター設定**を選択して**決定ボタン**を押します(11ページ参照)。
3. **uMusicプリセット**を選んで**決定ボタン**を押し、**カーソルボタンの上、下ボタン**を使って、名前を書き込みたいプリセット番号を選び**決定ボタン**で決定します(12ページ参照)。
4. **uMusicプリセット操作**を選び**決定ボタン**を押します。
5. **プリセット名の編集**を選び**決定ボタン**を押します。
6. 好きな文字を書き込みます。書き込み方の詳しい方法は“編集画面について”(14ページ)参照。
7. **終了ボタン**を押して、システム画面を消します。

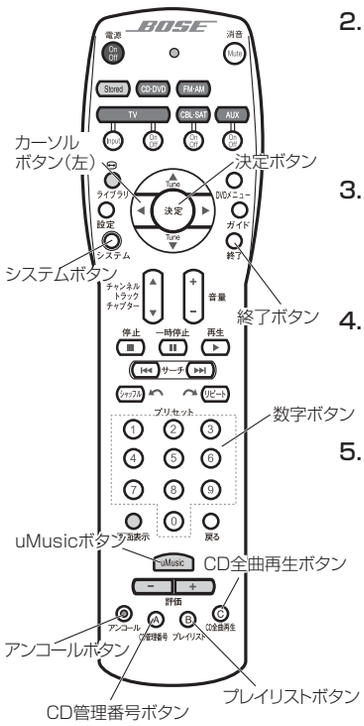
プリセットの内容の初期化の仕方

プリセットの内容はいつでも初期化できます。例えば、ある人用のプリセットの内容を消去して、別の人がそのプリセットを使用することができます。

1. リモコンの**システムボタン**を押してテレビの画面にシステム設定画面を表示させます。
2. **メディアセンター設定**を選択して**決定ボタン**を押します(11ページ参照)。
3. **uMusicプリセット**を選んで**決定ボタン**を押し、内容を初期化したいプリセットを選び**決定ボタン**で決定します(12ページ参照)。
4. **uMusicプリセット操作**を選び**決定ボタン**を押します。
5. **評価のクリア**を選び**決定ボタン**を押します。確認画面が出るので**カーソルボタンの左ボタン**で**実行**を選び**決定ボタン**を押します。
6. **終了ボタン**を押して、システム設定画面を消します。

保存済 CD の再生モードについて

保存済CDの再生には6種類の再生モードがあります。



1. uMusicモード

プリセットの選曲基準に従って、使う方の好みの曲を選び出して再生します。
※このモードではリピート再生やシャッフル再生はできません。

2. アンコールモード

アンコールボタンを押すと、現在聴いている曲とムードや曲調が似ている曲を探し出して再生します。uMusicモードに戻すには**uMusicボタン**を押します。
※このモードではリピート再生やシャッフル再生はできません。

3. CD管理番号モード

CD管理番号ボタンを押し、すぐにCD管理番号を**数字ボタン**を使って押すと、指定されたCDアルバムを1曲目から再生します。uMusicモードに戻すには**uMusicボタン**を押します。

4. CD全曲再生モード

CD全曲再生ボタンを押すと、現在再生している曲が収録されているCDアルバムを 1 曲目から再生します。uMusicモードに戻すには**uMusicボタン**を押します。

5. プレイリストモード

プレイリストボタンを押すとプレイリストに登録されている曲を登録された順番で再生します。プレイリストとは、自分でリストに登録した曲だけを再生するモードです。uMusicモードに戻すには**uMusicボタン**を押します。

・プレイリストに登録する方法

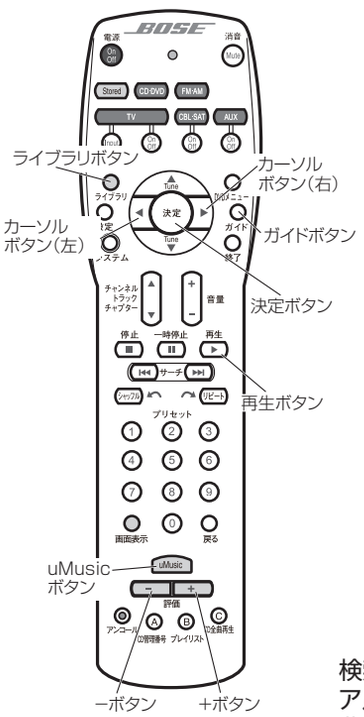
保存済CD再生中に（プレイリストモードを除く）、登録したい曲が流れたら**プレイリストボタン**を長押しします。メディアセンターの表示部に **“ADDED TO PLAYLIST”** と表示されて登録されたことを確認できます。

・プレイリストから削除する方法

削除したい曲がプレイリストモードで再生されているときに、**プレイリストボタン**を長押しします。メディアセンターの表示部に **“REMOVED”** と表示されて削除されたことを確認できます。

・プレイリストの内容を全て削除する場合は

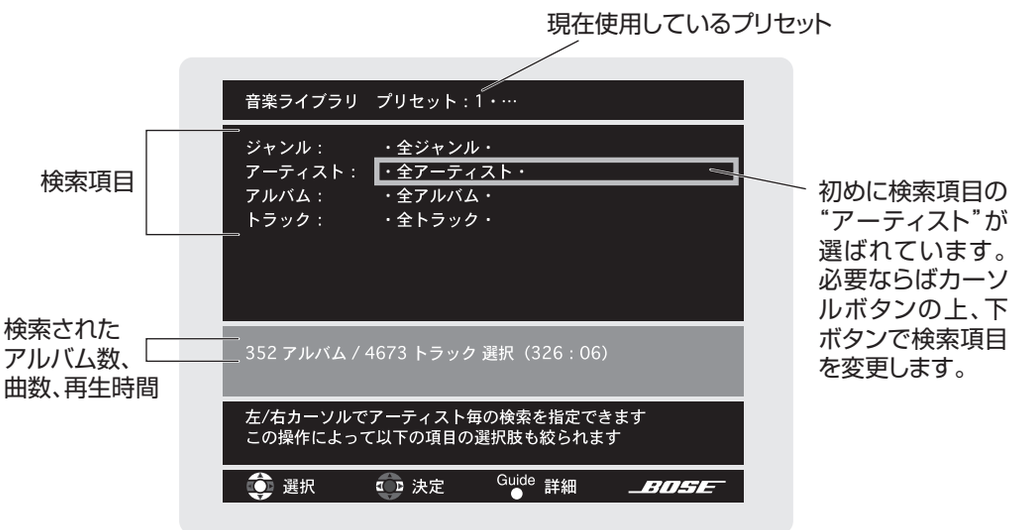
1. リモコンの**システムボタン**を押してテレビの画面にシステム設定画面を表示させます。
2. **メディアセンター設定**を選択して**決定ボタン**を押します。
3. **uMusicプリセット操作**を選び**決定ボタン**を押します。
4. **プレイリストのクリア**を選び**決定ボタン**を押します。確認画面が出るので、**カーソルボタンの左ボタン**で**実行**を選び**決定ボタン**を押します。
5. **終了ボタン**を押して、システム設定画面を消します。



6. ライブラリモード

保存した音楽データから聴きたい曲を検索して再生するモードです。**ライブラリボタン**を押すとテレビ画面に**“音楽ライブラリ”**画面が表示されます。この画面で絞り込み検索することができます。ジャンル、アーティスト名、アルバム名と上から順番に絞り込んでいき、トラック（曲）名を選択して、**決定ボタン**を押すと選択した曲がライブラリモードで再生されます。なお、選択は曲単位だけではなく、アルバム単位、アーティスト単位、あるいはジャンルごとの選択も可能です。“音楽ライブラリ”画面を消すには**終了ボタン**を押します。uMusicモードに戻すには**uMusicボタン**を押します。

ライブラリボタンを押すとテレビ画面に**“音楽ライブラリ”**を表示します。



各項目内での検索は**カーソルボタン**の**左、右ボタン**を使います。
希望の項目で検索できたら、**再生ボタン**または**決定ボタン**を押すと再生が始まり、**ガイドボタン**を押すと検索条件にあてはまるアルバムの詳細情報を見ることができます。

♪ 注意：この画面でリモコンの**＋、−ボタン**を使って、プリセットに自分の好みを覚えさせることができます（7 ページ参照）。

システム設定画面を表示するには

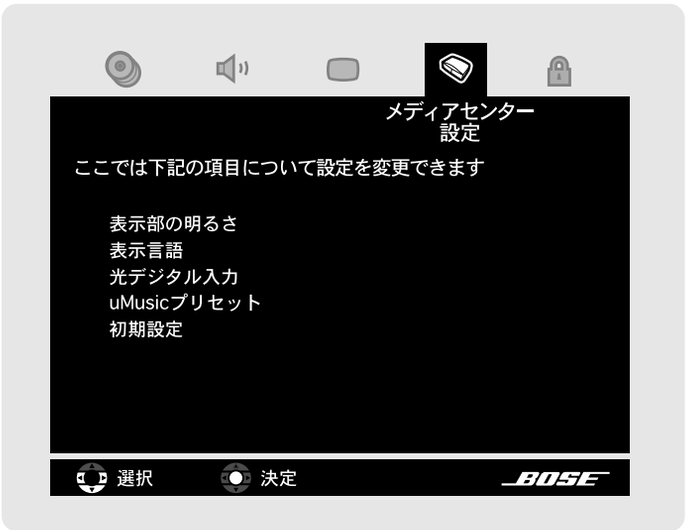
リモコンの**システム** ◎ **ボタン**を押して、システム設定の画面を呼び出し、各設定を行うことができます。このとき、必ずテレビの電源を入れてメディアセンターからの映像入力をテレビ側で選択しておいてください。各設定の選択にはリモコンの **ボタン**を押します。このとき、各項目が強調されて表示されます。決定するときはリモコンの**決定** **ボタン**を押してください。
システム設定画面をテレビ画面から消すにはリモコンの**終了** ○ **ボタン**を押してください。

図 1
オンスクリーンディスプレイ
（システム設定画面）

メディアセンター設定

図2

メディアセンター設定



項　目	設　定	デフォルト	内　容
表示部の明るさ	1～4	4	メディアセンター表示部の明るさを調整します。**[4]**に設定すると最も明るくなります。
表示言語	日本語/英語	日本語	画面上のメニュー表示は日本語または英語でできます。指定した言語でメニュー画面が表示されます。
光デジタル入力	TV/CBL･SAT/AUX	CBL･SAT	指定したソースに光デジタル接続を割り当てます。光デジタルで接続したいソースを選んでください。
uMusicプリセット	1～9	1	uMusicのプリセット番号を選びます。
uMusicプリセット操作	プリセット名の編集 プレイリストのクリア 評価のクリア	プリセット名の編集	uMusicにおけるプリセット名の編集、プレイリストのクリア、または過去の評価のクリアを選択してください。
初期設定	実行/中止	中止	工場出荷時の初期設定に戻します。下記の設定を工場出荷時の初期設定に戻すには**[実行]**を選んでください。

初期設定に戻る項目と初期設定

・音声設定の音声信号調整が**[自動]**に戻ります。
・ムービー EQ※が**[入]**に戻ります。
・レンジコンプレッション※が**[入]**に戻ります。
・モノデコーディング※が**[切]**に戻ります。
・オーディオ1＋1※※が**[1]**に戻ります。
・映像設定のDVD映像の解像度が**[補正する]**に戻ります(HDMI接続時)。

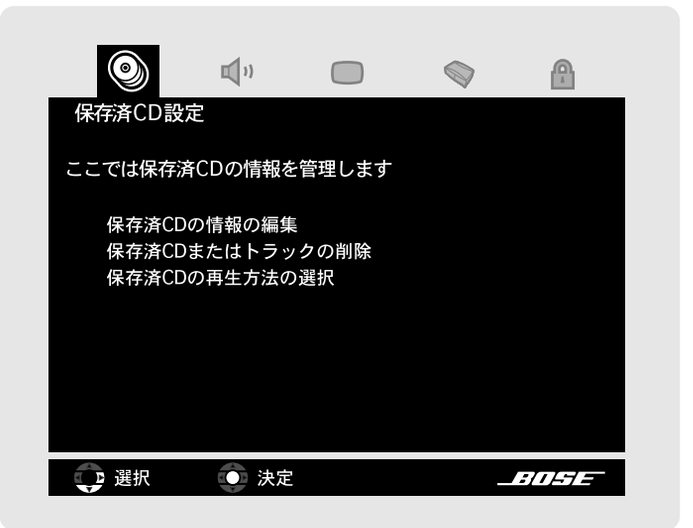
※音声設定の音声信号調整を**[調整可]**にしないと画面に現れません(3・2・1GSXシリーズIII取扱説明書35ページ参照)。

※※DVD音声や外部からのデジタル入力にドルビーデジタル1＋1信号やAACの音声多重信号が入力されたときのみ画面に表示されます(3･2･1GSXシリーズIII取扱説明書38ページ参照)。

保存済 CD 設定

図 3

保存済 CD 設定



項　目	設　定	デフォルト	内　容
CD#			削除あるいは情報の編集をしたいCDを番号で指定します。
CDの操作	CD情報の再読込/ CDの削除	CD情報の 再読込	CDの情報をハードディスク内のデータベースから再読み込みするか、このCDのハードディスクからの削除を選択します。
CDの再生	自動/ 全曲リンク/ リンクしない	自動	uMusicにおけるCD収録曲の再生方法を選択します。 uMusicではリンクされた曲を続けて再生します。 (例えば、複数のトラックが1つのシンフォニーを構成しているクラシックCDを再生する場合などに**【全曲リンク】**に設定しておくと都合が良い場合があります)
ジャンル	※参照 (計20種類の中から設定)		CDのジャンルをデータベースで表示されているものから変更したい場合に選びます。
アルバム			CDのタイトルをデータベースで表示されているものから変更したい場合に編集します。
アーティスト			CDのアーティスト名をデータベースで表示されているものから変更したい場合に編集します。
アーティスト名書換			ライブラリにおける検索用のアーティスト名編集を行います。
トラック			削除または曲名の編集をしたいCDのトラック(曲)を選びます。
トラックの操作	編集/削除	編集	上記で選択した曲について、曲名の編集または曲のハードディスクからの削除を選択します。

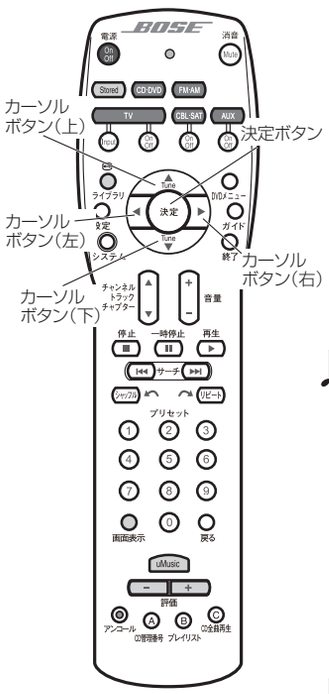
※ロック/ポップス/J-POP、クラシック、ジャズ、エレクトロニカ、ワールド、ラテン、カントリー、ヒップホップ/ラップ、ヴォーカル、ゴスペル、ブルース、サウンドトラック、フォーク、ニューエイジ、レゲエ、イージーリスニング、チルドレン、スポークン/コメディ、ホリデー、その他

編集画面について

編集することのできる項目(アルバム名､アーティスト名､uMusicプリセット名など)を選択すると編集画面が表示されます。

文字の消去

カーソルボタンを使って**[消去]**を選びます。
決定ボタンを押すごとに右側から一文字ずつ消去されます。



文字の入力

1. **カーソルボタン**の**上､下ボタン**を使って文字の種類(英字､数字記号､特殊文字)の選択をします。
2. **カーソルボタン**の**右ボタン**を1回押して文字テーブルに移動します。
3. **カーソルボタン**を押して入力したい文字を選んで**決定ボタン**を押します。
4. 文字の数だけ1～3を繰り返します。

※入力できる文字は､英数字と､記号､特殊文字だけです。日本語は入力できません。

♪ 注意：・文字種を変えるには、**カーソルボタンの左ボタン**を使って文字の種類まで戻り、**上、下ボタン**で変更します。
・英字入力時に大文字、小文字を切り替えるには、**カーソルボタン**で**[シフト]**を選び**決定ボタン**を押します。
・編集画面に切り替わり英文字を入力する場合､何も変更をしない場合は一文字目は大文字で､二文字目から自動的に小文字にかわります。

入力、追加、消去が終了したら

カーソルボタンで画面右上の**[終了]**を選び**決定ボタン**を押します。

♪ 注意：あなたがいままでに変更､編集した内容すべてを元の（ハードディスク内のデータベースから最初に読み出された）状態に戻すには､システム設定画面の“保存済CD設定”の“CDの操作”から“CD情報の再読込”を行ってください(13ページ参照)。

取込済 CD 覚書き

ページが足りない場合は、コピーするなどしてお使いください。
もちろん、ご自分で別途オリジナルの表を作っていただいてもかまいません。

CD#	タイトル	アーティスト名	備　考

ボーズ株式会社 http://www.bose.co.jp/
〒150-0044 東京都渋谷区円山町28-3 渋谷YTビル 0120-130-168

BOSE®
Better sound through research®

●仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
●弊社取扱以外の製品については、保証の責任を負いかねますのでご了承願います。

OM-1411
08･09-1.1K-A･1(I-M)